

支部活動報】

北陸新幹線でゆく金沢バスめぐり

長野支部 伊部 政司

9月3日久しぶりに秋雨から解放され、元気な会員10人(女性4人)で開業半年の北陸新幹線で古都金沢のグルメ、歴史、文化を日帰りで大いに楽しんできました。長野駅から8時10分発の「ほくたか号」に乗車し慌ただしく酒宴するも1時間半で金沢に到着です。

以前は殆ど足が赴くこともない東京より遙かに遠い北陸路でしたが今では東京より近くなり余裕の日帰り圏です。

地方都市とは思えない程の明るく広々とした駅ビルに圧倒され「北陸の盟主金沢」を実感しました。金沢の新しいシンボル 鼓門・おもてなしドーム」で記念撮影を済ませ金沢市民の台所「近江市場」へ。北陸の新鮮魚介類のショッピングを楽しむ疲れた頃合いで昼食となり本場の海鮮料理に舌鼓を打ちながら午後の散策パワーを充電しました。

本日のメインイベント かなざわめぐり



鼓門・おもてなしドーム前にて
後列左から：丸山、矢島、北島、工藤、岡部、小宮山
前列左から：田中、水野、伊部、中村
(敬称略)

半日午後コース」を金沢弁堪能な愛くるしいバスガイドの案内で4ヶ所を巡りました。

金沢城は前田利家公が能登から入城して以来度重なる火災で天守閣など多くを消失したようですが加賀百万石のシンボルとして復元され外庭だった兼六園と並び市内最大の名勝として賑わっています。

悠久の時を感じる荘厳な佇まいには戦国時代にタイムスリップした気分になりました。時間の都合で兼六園は散策できませんでした。だが長町武家屋敷、天徳院、ひがし茶屋街を散策し往時の武家、町人の暮らしに想いを馳せました。



金沢城にて熱心な歴女

半日のバス巡りとはいえ歩く時間も多少お疲れの先輩方も見られましたが全員故障もなく金沢駅に戻りました。予定通り18時7分発の「ほくたか号」で帰路につきお早速金沢土産をおつまみにビールやお茶で和やかな反省会となり最後に北島支部長から労いの挨拶を頂き長野駅に到着しました。

次回の企画やまた元気に会えることを楽しみにして笑顔で解散しました。以上